

AMUSEMENT SQUARE stage

芝居仲間クレイジージャップ

三浦哲郎殿へよする

〈文〉芝居仲間クレイジージャップ・木村勝一

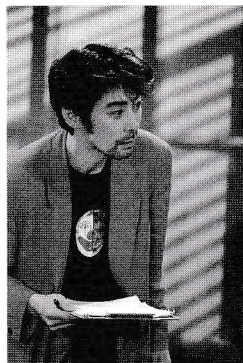
前略 お元気か？

この文、東京目黒宅へ届く頃、貴殿恐らく旅の空。南は九州福岡或いは北は北海道札幌か？

夏の恒例の全国巡業とは謂え、着ぐるみで舞台一杯に踊り駆け抜けるアノ仕事量、運動量、アツカロー、ツラカロー。正に暑中お見舞い申し上げる次第！

こちらは盆前だというのに気温三〇度を超える日がない。貴殿には申し訳ない位涼しい夏だ。——不況の折とは謂え、湊の花火はあつかなかつたなあ。

さて、先だつては大阪からの電話留守にて失礼。多分、夢二の脚本の新たな構想に違いない。旅先の貴殿から湧き出づる斬新かつユニークな発想に、凡たる小生は毎回驚嘆させられるものであるが、先の主人公、竹久夢二のダブルキャストの件はいかがなものか？ もちろん勉さん（注一）に



▲4月に東京で行われた公演「リョーマの休日」より。三浦哲郎氏



▲加藤文生氏。作曲家・ピアニスト。86年渡米、バリー・ハリス等にピアノを学ぶ。ハーレム・ルネサンス・オーケストラに参加しリンカーン・センター等に出演。10年間NYにて活動後、96年帰国。木村勝一とは今年2月のNY行きの際に運命的な出会いをし、今回から音楽を担当していただくことになる！

日常の夢二を演じて頂くによって舞台に一層の厚み、説得力を加えることは実証済みである。しかし主人公の貴殿が夢二の中の夢二のみを演じ、夢と現実の交錯を表現するのであれば、恐らくラストシーンでの貴殿の独白（「テーマ」）が効いてこないかもしれないという危惧がある。

貴殿の作・演出である抒情的詩劇の思い入れは約10年にも及ぶライフワークである。堂々と、たっぷりと、そしてワガママに！である。八北高演劇部より、新劇の名門、五月舎へみごと入団しプロの道を歩む。現在はフリーとなり映画・TV・舞台・CMにて活躍しつつ、我々クレイジージャップ「旗揚げ当初より演出・主要キャストと、貴殿の芸歴は長い。（アト数年でなんと芸歴二〇年という事実、貴殿は認識か?!）小生としては加藤文生氏のピアノ

ノのソロで貴殿の一人芝居というリサイタル的企画を考えていたのだが、そこは何しろ「芝居は思い切りゴージャスに！」が貴殿の口癖である。原作をあの尾崎周司氏（注二）に依頼し、七名のキャスト（注三）に依頼し、七名のキャスト（注三）の振り付けによる日本舞踊五名の登場、東京より現代舞踊の飯塚聡子が参加、そしてオリジナル曲はNY、東京で活躍中の作曲家、加藤文生率いる「渡り鳥楽奏団」（注四）の演奏という豪華版の大ユニットとなつてしまつた。また我がクレイジー仲間、大門賢二も来八、裏につくというオマケもついた。これはつまり夢二と謂う「夢の祭典」なのである。（しかし、皆楽屋へ入りきれるのだろうかか哲郎殿…）

「祭」といえば最近、県の行政が何を血迷ったか、血税二〇数億円の「文化観光立県宣言」なる花火を上げるらしい。文化・芸術とは無関係の識者・体現者抜きの過剰なイベントだが、十パー絡げの泥縄方式で仕込まれた打上げ花火は不発に終わることは必定。今だ「地方の時代だ。地方発進」だのという貧困な発想ではこの地に花火はおろか花も咲かぬだろう。岡本太郎謂わく「男女同権ではない男女一体だ」。そして我々、足掛け一〇年来の地道な活動こそ、東京・地方・ジャンル・人種をも超えた「芸術の融合・文化の共有」と謂える営みであつたとの

自負がある。

とにかく九月には再会し、共にどっぷりと「夢二ワールド」に浸ろう。そして「ワタリドリ」の打ち震える様な「夢二のタンゴ」たずさえ、稽古に入りたいものだ。本番の晩にはご来場の皆様と芸術の美神に捧げるエンターテイメントと謂う花火、否、大正浪漫の匂い香り立つ大輪の花をこの地に咲かせようではないか！

九月の本番までアト少し。大事な体だ、御自愛しつつ精進してくれたまえ。
・草々

（注一）御存知、田中勉氏（通称ペンさん）。Space BENの代表。常に「クレイジージャップ」をバックアップし企画、製作、出演して頂いております。

（注二）もともとはインディーズ映画の巨匠（虚匠）？。過去に5年の監督作品。昨年は初の芝居「あしたはどつちだ」の脚本を書きおろした。今回の「夢二」は氏のキャラクターにはなく、つらい仕事だったそう。趣味は木村に難しむ役を与えること！

（注三）Space BENでもおなじみアヤナ先生。泉流師範でもある。八戸北高校、日大芸術学部卒。最近では、7月に八戸公会堂にて1500人の観客を動員。8月には国立劇場出演と精力的に活動している。Space BENでは、創作踊を毎月コンスタントに発表。来春はクレイジージャップNY公演に参加予定。酒も相当飲める。

（注四）加藤氏率いる大モノぞろいのメンバー。何故かクレイジージャップに手弁当で曲を提供して頂きました。ありがたうございまして!! 「清野佳子」チェロ。最近「オズの魔法使い」「レ・ミゼラブル」「アン」等、ミュージカルオーケストラに参加。大塚雄一「アカロディオン」。91年「ROAD」結成。94年アルバム「INFORMATION」発表。97年ソロアルバム「KOCORON」発表。98年「合衆」発表。80年に渡米。アトブレキ等、有名ミュージシャンと共に、ニューヨークシティオペラに参加、カーネギーホールに出演。

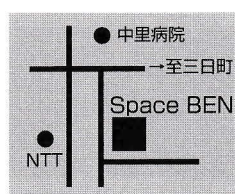
9月のFriday Amusement Negative Shop

番組変更の場合もありますので、内容についてはデリー東北の「あすのメモ」
「きょうのメモ」欄でご確認下さい。

■11日～13日（3日間公演）芝居仲間クレイジージャップ Vol.15
「夢二・夢の日常」あの浪漫派の俳優の三浦哲郎プロデュースによる抒情的詩劇の夕べをあなたに…
時間／（11・12日）午後7時30分～
（13日）午後3時～ 午後6時～
出演：田中勉、平段健悦、泉彩葉、飯塚聡子、麗奈、木村勝一、他
料金／3000円（大人）2000円（高校生以下）
オリジナル曲／作曲：加藤文生 演奏：渡り鳥楽奏団
原作：尾崎周司 問い合わせ／0178-52-2503・080-783-8738
作・演出・主演：三浦哲郎

■22日～25日（4日間公演）ひま人 VOL.17

時間／午後7時30分
料金／500円
おなじみのひま人シリーズの第17弾。田中勉の一人芝居でお送りいたします。



駐車場はございませんので、車のご来場はご遠慮下さい。
（近くに西町書店駐車場有り）